

# あなたが選ぶ かごしま景観大賞

---

令和8年3月

 鹿兒島県地域政策課



# あなたが選ぶかごしま景観大賞について

普及・啓発

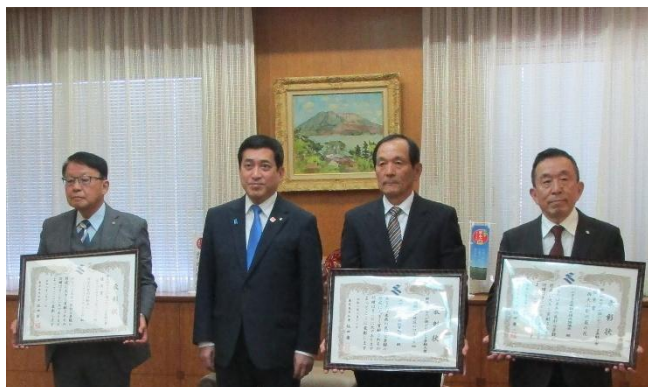
県HP



良好な景観形成に特に功績があった方を表彰



県民等の景観に対する認識を高め、  
個性豊かで魅力あふれる景観形成を推進



表彰式の開催  
(令和7年度)



## 県内にある良好な景観を保全・創出 するための活動をしている個人又は 団体を募集（他薦もOK!）

6～8月

- 地域の特性を活かし，周辺の風景や街並み等と調和した建築物・工作物の創出
- 歴史的景観の継続的な保全・管理
- 自然景観の継続的な保全・管理（植栽，清掃活動等）
- その他，個性的または魅力的な景観の創出

**景観の写真 + 活動の写真（自薦の場合必須）**

# 調査

## 活動者に聞き取り・現地調査を実施

10月



# 投票

## 県民の皆様による投票を実施

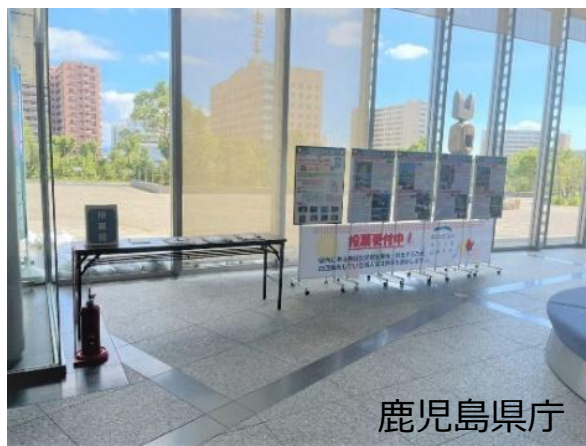
- インターネット
- インスタグラム
- 展示会場

11月～12月

かごしまPRサポーター  
さくらじまん



活動を知って  
もらう機会に！



鹿児島県庁



イオンモール鹿児島

# 審査会

## 投票結果も踏まえて 審査会により景観大賞を決定！

12月

【審査委員】 ◎は委員長

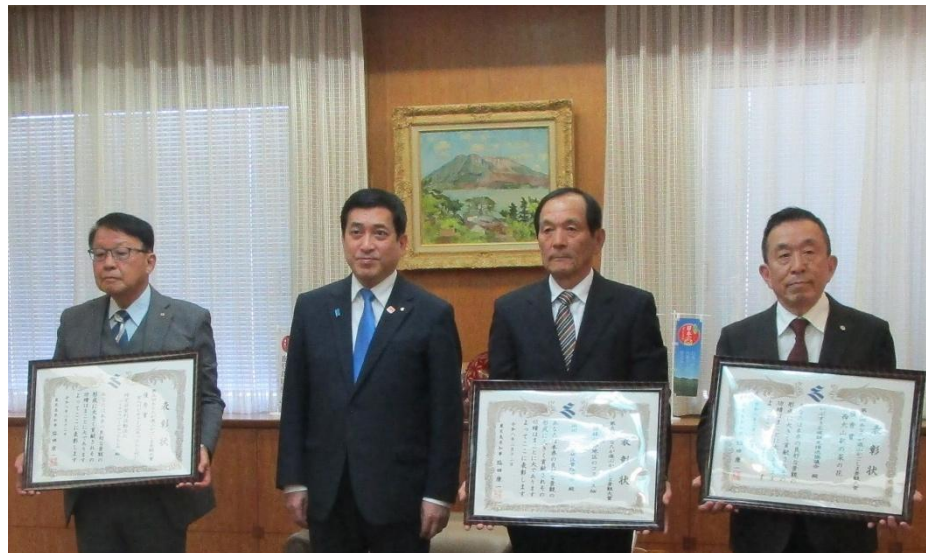
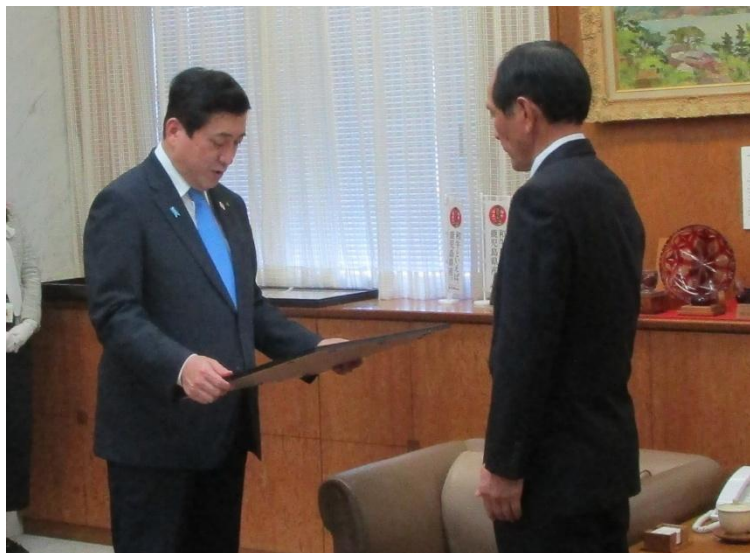
氏名	現役職	専門
◎国吉 直行	NPO 法人景観デザイン支援機構 代表理事	都市景観
木方 十根	鹿児島大学 教授	建築
西 みやび	西みやび事務所 代表	観光
東川 隆太郎	NPO 法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事 ※県景観アドバイザー	まちづくり
福島 大輔	NPO 法人桜島ミュージアム 理事長 ※県景観アドバイザー	環境





# 大賞・優秀賞を表彰 各種広報（テレビ，雑誌等）を実施

2月



**大賞（1件）**

**表彰状**

**商品券3万円**

**優秀賞（2件程度）**

**表彰状**

**商品券1万円**

# ● 地域の特性を活かし，周辺の風景や街並み等と調和した建築物・工作物の創出



江戸時代中期に屋久島へ上陸したイタリア人宣教師シドッティ（シドッチ）の上陸地を展望できる場所に，展望タワーを建設した。

展望タワーは，エコロジカルで温かみのある素材を使用することを意識しており，鹿児島県産で節が少ない杉を使用した木造らせん階段仕様のタワーとなっている。

曲面の壁に太陽の光が当たることにより，光や影の変化を見て楽しむことができる。周囲の木々の高さに調和するよう設計されており，周囲に溶け込みながらも過去の歴史に光を当てるデザインをコンセプトとしている。

第4回景観大賞 大賞  
「屋久島シドッティ上陸地展望タワー」  
NPO法人やくしま未来工房（屋久島町小島）



# ● 歴史的景観の継続的な保全・管理



第1回景観大賞 優秀賞  
「大隅横川駅～木造駅舎の歴史保存・継承～」  
大隅横川駅保存活用実行委員会（霧島市横川町）

第二次世界大戦時の機銃掃射の爪痕が天井や柱に残る鹿児島最古の木造駅舎である大隅横川駅。

1903年（明治36年）に開業し、現在も改修されず薄い窓ガラスなどが使われている駅は全国的にも珍しい。レトロな雰囲気漂う駅舎は、登録有形文化財に登録されており、横川地区のシンボルとなっている。

地域活性化と駅の歴史継承のため、定期的な駅構内の清掃や植栽、駅舎外壁の洗浄や防腐剤の塗布をはじめ、様々な活動を行っている。

昭和20年にアメリカ軍の攻撃を受けたことから平和を願って始まった「大隅横川駅平和コンサート」は、令和3年に14回目を迎えた。

# ● 自然景観の継続的な保全・管理



海岸の景観保全やウミガメ、シロチドリなどの絶滅危惧種の保護のため、約2,600mに及ぶ脇本海岸を歩いて回り、ゴミの回収や何か異常が発生していないか、ウミガメやシロチドリの産卵が行われていないかを確認している。

ウミガメの産卵場所を確保するため、令和5年には、重機で10日間程かけて砂浜の宿根の撤去作業を行い、良好な孵化率を得ることができた。

また、堤防を遊歩道として歩けるよう、年4、5回は草刈等を実施するほか、昭和40年代に松くい虫の被害でなくなってしまった松林の再生を図るため、会が中心となって、中学同窓生ごとの植樹と育成を行っている。



第3回景観大賞 大賞  
「脇本海岸」

NPO法人脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会（阿久根市脇本）

## ● 個性的または魅力的な景観の創出



浜田・大見堂地区管理組合の組合員が、県内にある別のコスモス畑の美しい景色に感動し、**穎娃町郡地区**にある自身の耕作地にコスモスの種を蒔いたことが始まり。

他の組合員も、この取組に賛同し、秋になると一帯にコスモスが植えられるようになった。普段はお米を作っている田んぼがほとんどで、**8月**に早期米を収穫後、**9月上旬**に日にちを合せて一斉にコスモスの種蒔きを行い、**10月下旬**から**11月上旬頃**にかけて、辺り一面のコスモス畑を創出している。

指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の鉄橋が近接していることで、コスモス畑と鉄道という組み合わせが生まれ、個性豊かで特徴的なスポットとなっている。

第5回景観大賞 大賞

「穎娃町郡地区のコスモス畑」

浜田・大見堂地区管理組合（南九州市穎娃町）

